

鳥取県県土整備部河川課



田中 課長補佐

私自身こういった会に参加させていただくのは初めてでございます。
県内3大河川の中で日野川の想いを語る会や、千代川流域会議という形で行政、住民で川をはぐくんでいくような取り組みがなされています。
日野川源流みお筋再生事業ということで、総合事務所、住民の方が一緒になって川をつくっていかうという取り組み、治水については日野、西部総合事務所が発信源となってやっています。
また、日野の方が中心となりまして、全県的に広がった事業で河川の伐開を地域の方の方にやっていたと、それは地域がはぐくむ河川環境保全事業ということで、従来県がやっていたところを地域の方が主体となっていていただき、我々の方から交付金を出させて頂く、そういった活動が日野川流域を発信源として全県下に広がったことを紹介させていただきます。

鳥取県西部総合事務所 県土整備局

今年3月朝鍋ダムが完成し、今年の渇水の中、地元の水利関係者に非常に喜ばれ、お礼の言葉をいただきました。賀祥ダムにも地元の協議会等で水不足のため放流してほしいとの要請がございまして協議し調整いたしました。

次に大ノ沢緑化活動ということで西部県土整備局の方で日野県土と伯耆町の主催で1,030本の柳の植栽、昨年植えたミズナラ等の施肥を270名以上のボランティアの皆さんの参加で行いました。

米子市を流れる加茂川の上流に環境に配慮した川づくりということで多自然型護岸を進めております。就労施設ワークホーム、ヘルスケアタウンに近接し、また小学校の総合学習の場であり、地域と一緒に計画するため協議会を設けて川づくりを進めています。

南部町の皆さんにも協力頂き、親水公園の管理やトイレ、あづまやを作っていただきました。下流の朝金地区では日野川漁協と一緒に、魚の住みやすい川づくりを地域で協議しながら進めているところです。



水野 河川砂防課主幹

鳥取県日野総合事務所 県土整備局



福原 河川砂防課長

今、治水ということだけでなく、川の流れを再生していこうという取り組み(みお筋再生事業)を地元の皆さんに参加していただきやっいていこうとしています。

みお筋再生事業は16年度に日南町の九塚川で2カ所行いました。着工前は落差がある状態で、渓流魚のイワナ等を放流しても全く上にも上がることが出来ず、瀬や淵もないところがありました。そういったところに現場にある石を使い、地元の企業にプロポーザル方式で工法を決定し事業を行いました。

また、九塚川沿いの河川公園の護岸に川へ降りるための階段を設置しましたが、この階段部分の材料として間伐材を地元よりご提供いただき、地元の皆さんの協力により進めたところです。

日野川こどもモニター研修会を今回初めて日野で取り組みました。川で遊ぶことが出来る場所を探している中、日野川カヌーの里があるのを見つけ、そこで応募のあった42名の小学生と家族の方を含め50名が参加し、カヌーの体験、日野川の水質調査などしながら川に親しんでいただきました。

また、渓流を守る会、漁協の協力で日南町稲積山にケヤキ、山桜1,200本の植林を、130名のボランティアで行いました。来年以降、下草刈り等の作業も地元の方々に協力いただきながら、引き続き進めていきたいと考えているところです。

国土交通省日野川河川事務所



茅原 所長

私どもは日野川の本川と法勝寺川を合わせて17キロ余りを管理をしております。
日野川の水質は平成16年度の値で0.9ppm、法勝寺川が1.1ppmということで国土交通省が管理している全国109水系166の一級河川ランキングでいえば69とか97番目になります。
ランキング1位は大体0.5ppmだということです。
本年は記録的な少雨で地域の皆様に渇水調整等で協力いただきました。
日野川上流の菅沢ダムが最大4トン放流し下流に賄い、下流の弓ヶ浜半島の米川用水にも供給できました。

また、流域の子ども達に川について知ってもらおうということで昭和59年から20年にわたり水生生物調査(水生生物で川の水質を判断する)を続けています。

きれいな水、汚い水を4段階に分けて5地点について調査し、今年は190人の児童に参加いただいております。

河川の一斉清掃では7月の河川愛護月間に合わせて今年は18団体2,900名の参加を得ました。川で触れ合いながら学ぶ取り組みを今後とも私どもは進めて参りたいと思っております。